

松中の絆 《9月行事》一人一人が生き生きと活動する2学期に 松茂中学校3年 2024年8月27日(火) 第10号

自己実現につながる「一本の大根として」の学習に向けて

中学3年の2学期がスタートします。皆さんの長い人生において中学3年の2学期は、大変重要な1日1日となっていきます。部活動に打ち込んできた学校生活から、高校入試を強く意識するようになり、実力テストや基礎学力テストに向けて全力で頑張り抜く生活に変わっていきます。

「高校入試は団体戦、学級の雰囲気、学級の集中力、仲間への信頼と尊敬が高校入試の結果を決定する」

この言葉は、皆さんに問い続けている言葉です。この言葉の意味を一人一人が確信するのが、2学期後半、第2回の基礎学力テストが終了した時期になります。皆さん、中学3年の2学期のスタートから、一人一人の最高の頑張りを引き出し、最高の努力を積み上げていく1日1日にしていきましょう。

第1回の基礎学力テスト終了後に、「一本の大根として」について語り合う人権学習が予定されています。この学習での語りは、皆さんの進路決定に大きな意味を持つ学習になっていきます。中学1年の学級開きの参観授業から、皆さんは、皆さん自身の思いを自分の言葉で生き生きと語ることを見事に積み上げてきました。その語りの積み上げは、皆さん自身の成長を象徴するものとなっています。人権学習の醍醐味は、自己を綴り、自己を語ることにあります。このことは、皆さんの生活ノートや1回1回の語り合いの人権学習から確信してきたことです。

今回、進路学習の集大成として皆さんと語り合う「一本の大根として」は、希望の進路への道を見事に切り拓いていく力を培っていくものとなります。皆さんの先輩たちが、「一本の大根として」について語った記録を掲載します。皆さん自身の思いと重ねてください。もう一つ、中学1年から積み上げてきた学級開きの参観授業で見事な語りを創造してきたA君とBさんの語りの記録も掲載しますので、これまでの自分の語りと生活を振り返ってみましょう。

日	曜	9月行事予定
27	火	①始業式②学③④学年日課 ノー部活デー
28	水	実力テスト①社②理③英④数⑤国 清掃なし 生徒会専門委員会(放課後)
29	木	B日課 清掃開始 ノー部活デー
30	金	
1	月	B日課
2	火	B日課
3	水	B日課
4	木	B日課 ノー部活デー 学級役員任命式(放課後)
5	金	B日課 ⑤⑥文化祭前日準備
6	土	文化祭
7	日	文化祭振替休業日
8	月	
9	火	
10	水	月曜日課
11	木	ノー部活デー
12	金	B日課 清掃なし
13	土	敬老の日
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	月曜日課 ノー部活デー
19	金	
20	土	秋分の日
21	日	振替休日
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	生徒会専門委員会(放課後) ノー部活デー
26	金	英検(放課後)
27	土	
28	日	
29	月	B日課

信頼と尊敬の絆を築く「一本の大根として」に学ぶ人権学習 ～高校入試は団体戦 本気の語りは本物の努力を引き出していく～

チーム担任制がスタートした2020年度、松茂中学校3年生が取り組んだ「一本の大根として」に学ぶ語り合いの人権学習の記録(抜粋)です。

《3A(男子)SI》

僕は「一本の大根として」の勉強をして、自分の甘さに気づきました。勉強をしていると思っていたけど、本当にしている人からしたら、ほとんどしていないようなもので、もっと努力する必要があるとわかりました。僕の進路というか夢は、最終的には星野カービーの会社(ゲームをつくる任天堂の子会社)のある研究所に勤めることです。その通過点として、阿南工業高等専門学校に受かりたいと思っています。でも、今の成績では受かるどころか、他の高校にせざるを得ません。今の成績では全くダメなので、僕は、特に苦手な英語と国語を強化して、数学と理科ももっと勉強して、成績を上げて入れるように頑張りたいです。

《3A(女子)YO》

私は、正直、高校受験をなめていました。なぜなら、毎年受験前の高校受験の倍率をみると低いと感じていたからです。しかし、受験生になり、初めての進路状況調査の結果を見て、私の希望している高校は、約100人も定員もれしていました。そこで、私は毎年定員もれの人数が少ないのは、それだけ希望している高校をあきらめた人数が多いということに気がつきました。それに気づいた途端、私はとても不安になりました。私は、今までテスト直前まで勉強をさぼってしていました。しかし、基礎学力テストの結果を受けて、このままではいけないということを考えさせられました。なので、これからは、受験生という意識を持って生活したいと思います。私は、絶対にその高校に入りたいので、その高校をあきらめなくてはならない100人の中に入らないように、残り5か月、本気で頑張ろうと思います。

《3A(女子)RS》

いろいろな学校の人権学習を聞いて、みんな本心で全力で意見を言っていたのがすごかったです。I先生の話では、I先生は病気でいきたい高校をあきらめて、別の高校に行っていたそうです。憧れていた高校をあきらめて、違う高校に行くことはとても悔しかったと思います。そんなI先生に、I先生のお父さんが言った言葉がとても心に残りました。「行く高校は関係ない。行った高校で努力をすることで、その行きたかった高校の人たちにも勝てる」という内容でした。どこの高校でも努力をすることが大切だということがわかりました。私のいきたい高校は、伝統のある進学校です。塾の模試では、もう少し点数があれば余裕を持って受験を受けることができるそうです。そのためにも、今は応用問題や、いろいろな形式の問題を解いて、問題に慣れていくことが大切だと思います。また、高校に入ってから、将来のことも考えていきたいです。

《3A(男子)SS》

僕たちは、「一本の大根として」の学習をしてきました。その中で、森口先生が、どうしてわざわざ受験を控えたこの時期に授業するのか考えてみました。「一本の大根として」の学習の中で、藍住中、北島中、松茂中の先輩方が進路について堂々と語っている資料を見ました。一見発言者に目が行きがちですが、僕は、それを真剣な表情で聞いている周りの人たちに目が行きました。この学級は、話し手と聞き手、両方が真剣な態度で一つの雰囲気を作り上げているのだと思いました。それと同時に、森口先生がいつも話していた言葉を

思い出しました。「高校入試は団体戦」。森口先生が目指していた学級の完成形を見て、本気で自分の目標とする進路について語る姿をカッコいいと思いました。

森口先生がこの授業をした意図が、受験を控えた僕たちに、「一本の大根」になれと背中を押してくれているのだと思いました。また、それは森口先生だけではありません。松茂中学校の先生方全員が僕たちを応援してくれています。その応援に応えるためにも、僕たちは1人でも多く、志望している高校に入るべきです。なぜなら、僕は、「一本の大根」の中には、先生方も含まれているからです。受験まで、残された時間は短いですが、みんな一緒に頑張りましょう。

《3A(女子)MT》

私は、「一本の大根として」の学習を通して思ったことは、受験が本当に近いんだなと思いました。正直、受験はいっぱいいっぱいって思いながらも、まったく、本当にそういうのを理解していませんでした。けど、この学習を通して、受験を真剣に考え、不安でいっぱいになりました。

正直、私の中での学習の仕方は、N先生の言う「意味のない勉強」だと思います。自分では努力しているつもりでも、結局意味のない勉強ばかりで、やっぱり、何もできていなかったんだなと自覚しました。

私の行きたい高校は、正直今の私では絶対に行けない高校です。それでも、私は絶対にそこに行きたい理由がたくさんあるので、口で言う努力じゃなくて、心の底から本当に思える努力で頑張っていきたいと思います。

《3B(男子)YM》

僕は、「一本の大根として」という授業を受けて、僕の先輩方が進路について真剣に語り合ったということを知りました。特に勉強が苦手だと言っていた人が、最後には高校に行こうと言っていたシーンは、心に残りました。

そのことから僕も進路について考えてみました。僕には行きたい高校があります。けれど、先日あった第1回基礎学力テストでは、その高校のボーダーと言われている点数に届いていませんでした。第2回もあります、もう1か月を切っています。そして、入試までも、あと4か月くらいしかありません。正直このままだと受からないことはわかっています。けれど、あきらめたくありません。

第2回基礎学力テストまではあと1か月で、入試まではあと4か月だけど、真剣に本気で勉強して、第2回基礎学力テストでは、ボーダーの線を越えられるように、入試でも本気を出せるようにしたいです。

《3B(女子)SF》

私は、「一本の大根として」を学んで、今までよりも高校受験のことについて考えることができました。私には、行きたい高校があります。でも、今の点数ではその高校に行けるかどうかわかりません。

私は、前の基礎学力テストで、自分の苦手な教科を少しでも点数を上げたかったので、勉強頑張ったけど、思っていた以上に点数が低くて、悔しくて、落ち込んでいました。でも、ある友だちが「まだ次があるけん、頑張れ。」と言ってくれました。私はその時に高校受験は団体戦の意味を理解しました。仲間と支え合って協力し、応援し合うことが大切なんだと感じました。実際、その友だちがその言葉を言ってくれてとてもうれしかったし、次の基礎学力テストでも、前の点数よりも頑張りたいと思いました。

私は、行きたい高校で自分の好きな部活に入って、楽しい高校生活を送ったりすることが今一番叶えたい夢です。その夢を叶えるために、これからは、これまで以上に勉強を頑張って、少しでも多く苦手を減らしていくことが大切だと思いました。

私は、今まで、すぐに結果を出そうとして、テストでいい結果が出なかったら、あきらめてしまうことがありました。なので、これからはすぐに結果を出そうとせず、落ち着いて最後の最後まであきらめず、自分の実力を出して行けるようにしたいです。これから高校受験の勉強で、不安になってしまうことがあるかもしれないけど、自分の夢を叶えるために、一日一日を大切にして、勉強を頑張ります。

《3B(女子)MU》

私には、まだ、ここの高校に絶対に行きたいという高校はありません。でも、ここの高校がいいなと思える高校があります。ここの高校に行きたいと親に言ったら、「そんなところはやめて、徳島北高校に行きな。期待しとるよ。」と返されました。

親に自分の人生を決められているようで、とても悲しくなりました。このことを友だちに言うと、「そんなこと気にせんと、自分のしたいことをしな。」と言われ、心が軽くなりました。そして先日の映像にあった、「自分の行った高校が最高の高校だと言えるようにしてください。」という言葉でもっと心が軽くなりました。

その私が行きたいと思う高校に、私は行けるかどうかわかりません。なので、スマホやゲーム機を触るのを控え、次の基礎学力テストで、1回目の点数より高い点数を取れるように頑張りたいです。

《3B(男子)SH》

僕は行きたい高校があります。僕は小さい頃からずっと母親に、徳島市立高校に行けと言われていました。だから、僕は、小さい頃から友だちに、ずっと徳島市立高校に行くと言っていました。だから、今でも友だちとよく勉強をしています。僕は、母親が小学生の頃から、徳島市立高校について話してくれていたおかげで、いい友だちができたと思います。だから、たくさん勉強をして、徳島市立高校に行って、就職をして、母親に恩返ししたいです。

《3B(女子)HT》

私は、「一本の大根として」の学習をして、受験に対する気持ちが強くなりました。第一志望の高校には、まだ点数が足りなくて、受かる確率も低いと思います。

私は、今まで勉強は頑張っているつもりでした。でも、自分の1日を振り返ってみると、勉強が全くできていないことに気づきました。10分の休憩が20分、30分になってしまうことや、明日から頑張ろうと勉強しない日がよくありました。受験に落ちるとどうなるかを考えると、とても怖くなります。

「明日から頑張る」「明日から頑張る」と言っている自分が、「明日から頑張る」と言って、勉強していない自分がよくあるので、今の自分の性格がとても嫌いです。明日からと言い続けている自分も嫌いです。第一志望の高校に合格して、頑張って受かったと自分を好きになれるように、残りの時間を大切に頑張りたいです。

あと2回、基礎学力テストがあります。3年生の範囲も入って、ちょっと難しくなるので、もっと点数が下がるかもしれません。でも、これ以上点数が下がると、高校に合格できなくなると思うので、もっと頑張りたいです。そして、最後には第一志望の高校に合格している自分になるよう頑張ります。

《3B(女子)AF》

私は、中学1年生の時は、徳島北高校の国際英語科に行きたいと思っていました。でも、進路への現実性が見えて来はじめて、今の希望は普通科です。あんなに憧れていたのに、すぐにあきらめてしまいました。

1回目の基礎学力テストは、テスト勉強を1か月くらいしたのに、結果は思い通りではありませんでした。でも、国語の文章問題と、生活ノートは毎日絶対やろうと思って、1か月間しました。そうすると、今では文章を書くのが嫌いじゃないし、テストの点数も上がりました。

私は、自分でも嫌いになるほど、プライドの高い時があります。例えば友だちにテストの点数が負けていたり、努力している姿を誰かに見られたりすると、すべてのやる気がなくなります。人から勉強時間を言われたりすると、常に自分が負けているような気がします。でも、そんな友だちがそばにいるからこそ、やる気が起こる時があります。

私は、「地頭(じあたま)がいい」という言葉が大嫌いです。だから、そんな言葉をくつがえせるような受験生になりたいです。そして、やると決めたことは絶対やって、明日からではなくて、今日からするということを徹底していきたいです。

《3C(男子)YD》

僕は、城東高校に行きたいと思っています。でも、本当に行けるかどうか本当に不安です。それは、1回目の基礎学力テストで、悪い点数で、自分が行きたい高校の点数にまだ届いていないからです。1回目より2回目の方が難しいと聞くので、本当にいい点数が取れるかわかりません。もし、悪い点数を取ってしまうと、行く高校を変えなければなりません。僕は、1回目の結果を受けて、今、勉強を頑張っています。

高校に行って、僕は勉強とスポーツを両立させて頑張ろうと思っています。サッカーを今までやってきたので、サッカーをしたいという気持ちは結構あります。勉強では、僕は、1年生と2年生の最初の方は良かったけど、そこから気が緩んで、さぼってだんだん成績が下がりました。それから学んで、高校でも勉強を頑張りたいです。高校入試に受かるために今はきついけど、我慢して勉強を頑張りたいです。

《3C(女子)IK》

私は、I先生の生き方から、自分の行く高校を一番だと思えることが大切だということ学びました。私は今、徳島市立高校に行きたいと思っています。私は、3年生になるまでは行きたい高校がなかったけれど、今は徳島市立高校に行きたいという夢が強くなっています。

しかし、私にとって、受験することは簡単なことではありません。だから今は、今まで以上に勉強を頑張っています。第1回の基礎学力テストでは、自分の目標とする点数は越えることができました。しかし、第2回、第3回ではもっと点数を上げないといけないと思います。なので、引き続き勉強を頑張ろうと思っています。

第2回、第3回の基礎学力テストでも点数を取って、徳島市立高校に受験し合格したいです。もし、徳島市立高校に行っても、行けなくても、自分の行く高校を一番だと思え、日常生活を送りたいです。

《3C(女子)MB》

私は、徳島北高校に行きたいと思っています。だけど、その学校には100点くらい点数が足りていないので難しいです。私は、毎日4時間勉強するとか言っておきながら、4時間したためしがないので、しないといけないなと思います。周りの友だちや、同じ北高を目指している友だちには、本当にせんとやばいぞとか、このままだと行けんぞと言われてるのにしないのは、まだ心のどこかで行けるとか思っている自分がいるからだと思います。

受験生である今、まだいけるなんてことは絶対ないから、やらなければいけないなと思います。私には、なりたい職業があります。だから、そのためにも、自分の夢を叶えるためにも勉強します。今の私に一番必要な力は、有言実行する力だと思います。

「一本の大根として」を見て、どんな子にも悩みがあるんだなと思って、少し安心しました。受験は団体戦で、今の私は、助けられることの方が多いと思うけど、これから、目標を持つ仲間と支え支えられながら、志望校に合格したいです。

《3D(女子)SK》

私は、幼稚園の時に髄膜炎という病気に罹りました。髄膜炎というのは良性というのと悪性というのがあるから、私は、悪性に罹ってしまいました。それで、救急車を呼んでくれた母や、医師、看護師が私の命を救ってくれました。その時に、髄膜炎をいうのに罹ったせいで、運動などが制限されてしまいました。なので、幼稚園の運動会にも出れませんでした。

その時に、たくさんの看護師の人たちにお世話になって、その時の恩返しとして、私は看護師になりたいという夢を持っています。そのためにも今まで以上の努力が必要だけど、まだ、自分自身は精いっぱい努力ができていないと思います。高校入試をまず突破して、高校に入ってから今までの勉強が必要で、それに耐えられるかわからないけど、今まで以上に努力して、耐えて、夢を叶えて、私がお世話になった看護師さんの人たちにも恩返しとしていきたいと思っています。

I先生のように、A高校に行きたいけど、B高校になってしまった。でも、B高校が一番好きになっていくというI先生のことを思って、私もこれからを生活していきたいと思っています。

《3D(女子)MM》

私の志望校は徳島市立高校に行くことです。その理由は、徳島市立高校のみんながとても楽しそうだったからです。私は、テストではいつもある程度点数が取れています。だけど、それは、徳島市立高校の合格ラインを越えられるかなという点です。私には、それに対しての厳しさも足りませんし学力も足りません。

私は父に、「高校を卒業した後何をやるん」と言われたことがあります。私は、「大学に行くよ」と言ったけど、私は将来の夢とか何もないし、やりたいこととか何もないので、先のことを全く想像できません。母によく、「高校の先生の資格を取って、高校の英語の先生になりなさい」と言われます。私は、それに対していいなあとと思うけれど、その希望に対して「うん、そうだな」と言えるほどの学力もありません。そういうことを言われると、私にはつくづく学力が足りないなと思います。

私は毎日不安に思いながら生活しています。その理由は、高校入試がどんどん近づいてきているからです。でも、それは、クラスのみんなや他の受験生の子たちも思っていることなので、何とか頑張ると思えてきます。私が憧れている高校生の人たちも、高校受験を乗り越えたんだと思うと、やっぱりまだ頑張れると思えてきます。私はこの5か月という残り少ない時間を勉強などに当て、有意義に過ごしていきたいです。

《3D(男子)TK》

僕は今、行きたい高校があります。でも、その高校に行くためには、今の自分では行けません。なので、勉強しています。僕は特に社会と数学が苦手なので、勉強していますが、テストで結果が出なかったり、まったくわからないところがあります。その時は、あきらめようと思う時がありますが、自分のためにも思えて気持ちを切り替えて頑張っています。勉強は今以上に頑張らなければいけないけど、勉強以上に頑張らなければいけないのは、勉強嫌いを直すことだと思います。これからは目標の高校に行くために頑張りたいです。

《3D(男子)GH》

僕は、この学習を通して、受験に対してもっと気持ちをつくっていきたくて思いました。僕の第一希望の高校は、鳴門高校で、高校3年間、僕は鳴門高校サッカー部に入って、いい成績になって、徳島市立高校、徳島北高校を倒して全国に行くことです。

ここ最近、全国大会がかかった徳島県大会決勝は、徳島北高校と徳島市立高校の一騎打ちばかりで、サッカーをやっている誰もが当たり前だと思っています。僕の目標は当たり前を壊すことです。その目標を叶えるためには、鳴門高校に行くための学力と、日々の練習が大切だと思うので、毎日頑張りたいと思います。

《3D(女子)YM》

私は、最近受験のことや進路について考えると、不安になることがとても多くなりました。それは、自分の努力の少なさから来ていると思います。テスト勉強や毎日の「整理と対策」でも、やらないといけないのはわかっているのに、面倒という理由で最後まで続けられないことが多いです。私は、昔から辛抱できないタイプで、何か自分が嫌なことに直面したら、すぐに逃げてしまいます。踏ん張らないといけないこの時期でも、まだ、自分に甘えて、この癖から抜け出せないままです。

自分が努力できなくていい結果を残せなかったら、それで自分を責めてしんどくなるの繰り返しを何回も経験してきました。なぜ、自分は努力しようとしなくていいのだろうか、なぜ、みんなは一生懸命頑張っているのに、自分はそれができないのだろうか、考えてしまう時もありました。今、自分がこの厄介な自分から抜け出して頑張っていくためには、自分に自信をつけることが大事だと思います。そのために私は、自分の長所を生かしてできることから始めてみようと思いました。

3年生になってから、自分を見直すようになって、私は、自分の短所だったり、自分の嫌なところばかり注目していました。自分の短所ばかり考えていると、できることもできなくなってしまうし、頑張れないと思います。なので、これからは、自分をいい方向に考えて、できることを少しずつ増やしていこうと思います。

《3D(女子)RS》

私は、徳島市立高校に行きたいと思っています。ずっと憧れていた高校だったし、お母さんも私の徳島市立高校に行きたいという夢を応援してくれているからです。第1回の基礎学力テストは、9月30日にありました。自分の思っていたような点数は取れていなくて、すごく悔しかったです。もちろん今のこの点数では、徳島市立高校に行くことは、かなり難しいと思いました。でも、私は徳島市立高校に行くという夢をあきらめたくありません。だから、限界まで努力を続けて、あと2回ある基礎学力テストや、実力テストでいい結果を残します。私は、勉強が苦手です。1～2年の時はほとんど勉強をしてこなかったと思います。まだ1年生だから、2年生だから。そういった言い訳を続けてしまっていました。でも、3年生では、そんな言い訳は通用しないと思います。毎日勉強して努力を続けた人が、希望校に合格できると思います。だから、私も一生懸命頑張ります。

「一本の大根として」からは、受験生が抱える悩みや不安が多く語られていました。私も、同じ受験生として気持ちがよくわかります。私も、受験に落ちたらどうしようとか、このままテストでいい結果を残せなかったらどうしようとか、いろいろ考えてしまうからです。でも、受験に合格するか落ちてしまうかは、自分次第なので、今できることを続けていこうと思います。半年後に頑張ったよかったですと思えるように一日一日を大切に過ごしていきたいです。

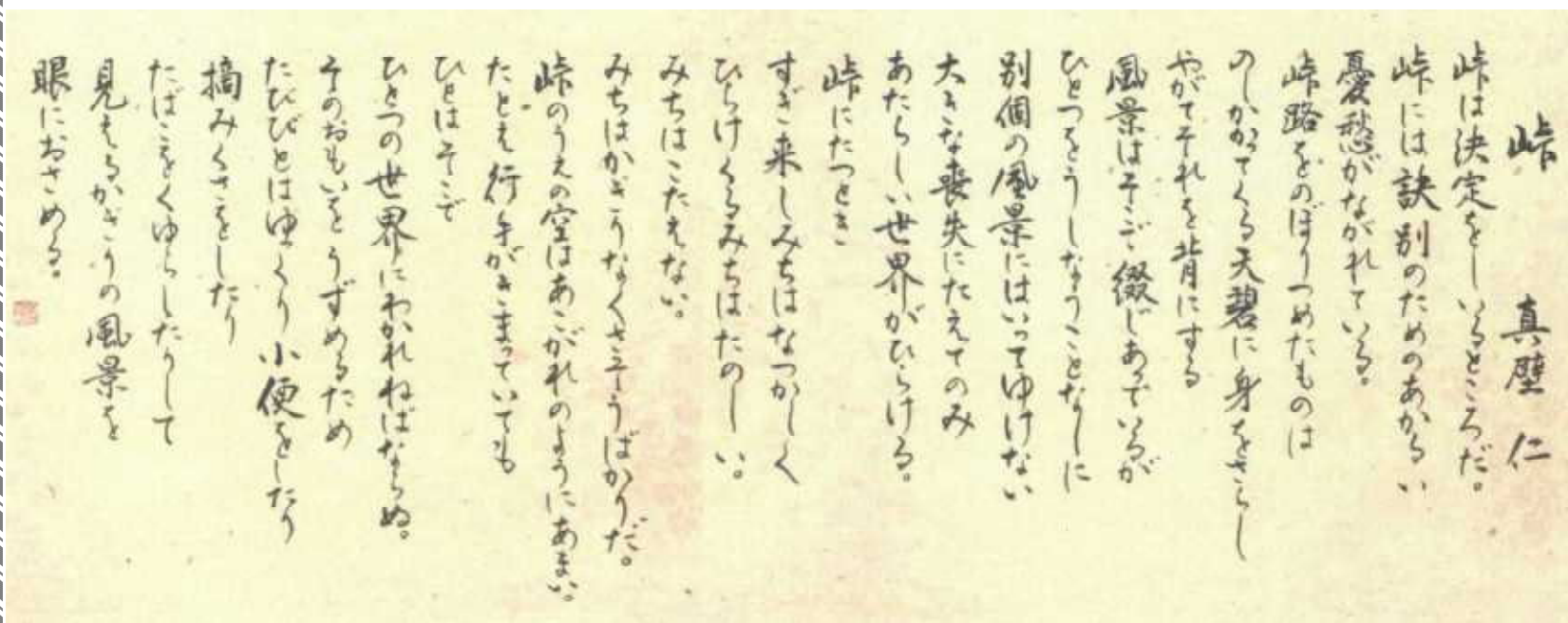
2022年4月12日(火) 松茂中学校1年学年集会
中学生活のスタートラインに立って
～自己を語る誇りとよろこび～



中学2年生のスタートラインに立って



最終学年のスタートラインに立って
思いや願いを語り合おう



「峠は決定をいするところだ」「大きな喪失にたえてのみ 新しい世界がひらける」

詩「峠」(真壁 仁)から学んだことを心に刻み、学級開きの語り合いで宣言した言葉は、皆さんの背中を押し続けていきます。

常にクラスの語り合いをリードしているAさんとBさんの学級開きの語りを掲載します。中学1年から積み上げてきた2人の語りから、自分の思いや願いを表現した皆さん自身の語りを振り返り、高校入試に挑む松茂中学校での日々をより充実したものにしていきたいと思います。

《学級開き・中学1年の語り:Aさん》

6年間の小学校生活を終え、中学校生活のスタートラインである峠に立った今、小学校生活を振り返り、反省すべき点があります。1つ目は、毎日ダラダラ過ごしてしまったことです。学校から帰って来てすぐに宿題をせず、ダラダラとテレビを見たりしていました。2つ目は、物事に真剣に取り組むことが少なかったことです。僕は、運動も勉強も、どこか少しこんなものでいいかという中途半端なところがありました。3つ目は、やるべきことを先送りにすることがあったことです。長期休暇の時の宿題を最後の方にまとめてやってしまう。そんなことがよくありました。

これらのことを反省し、中学校生活では生活にメリハリをつけ、…やるべきことを先送りせず。毎日を計画的に過ごしていきたいです。また、何か物事に真剣に取り組んでいくため、部活動も始めたいと思っています。そして、中学校生活をより充実したものにするために、今までの仲間、そしてこれからできる仲間を大切に、仲間から様々なことを学んで、自分も成長していきたいです。

1年後には、「勉強を頑張って苦手だった教科が得意になった」「部活動を頑張って運動が好きになった」「信頼できる仲間がたくさんできた」などと、何か胸を張って言えるようになりたいです。

《学級開き・中学2年の語り:Aさん》

中学1年生と中学2年生の接点という「峠」に立った今、一旦、中学1年生を振り返ってみると、この1年で、僕はよく成長できたと思います。中学校1年生の初めの語りで、「僕はこの1年が終わった時に、何か1つでも、頑張り切れたと言えるようになっていた」と言いました。そして、この1年間で、僕は特に、勉強についてのことを頑張ることができたと思います。

中学校に入る前、小学生の頃の僕は、特に何の目的も持たずに、何となくで、やれと言われたことをやり続けていくだけでした。だからこそ、こうして自分で何について努力するかを決めて、それに向かってしっかり全力を出せるようになったというのは、大きな成長だと思います。

ですが、やっぱり、中学校1年生の1年間をかけても、成長できなかったなと感じるところもあります。それは、僕の将来のような進路に関わることです。僕は、小学生の頃は、一切進路のことなんて考えていませんでした。そして、中学生になった時、「これからぼちぼち、進路や将来の夢について考えていこう」と思っていました。けれど、結局、中学校1年生の1年間を通して、そういった将来の夢や進路についての目標は、一切決まりませんでした。

僕は、中学2年生というのは、中学3年生への準備期間だと思っています。

もし、この1年をダラダラと過ごして、進路や将来の夢などの目標を一切見つけることができなかつたら、中学3年生の僕は、目標が全くない状態なので、多分、何事にも全力を出し切れないと思います。だから、この1年で、しっかり進路や将来の夢などの目標を定めて、それに向かって努力できる土台を作っていきたいと思っています。

《学級開き・中学3年の語り:Aさん》

3年生の始まりという峠に立って、最初にちょっと振り返ったのは、1年生・2年生でのこの「峠」の詩の発表でした。私は、1年生・2年生のこの峠の発表で、両方とも、「1年後には何かこれを頑張ったと胸を張って言えるようになっておきたい」と話していました。何となく1年生、2年生での生活を思い返して、自分でも結構頑張って2年間生活してきただろうと思っています。

なので、今回この発表をしている中でも、少しばかりの達成感を感じながら今ここに立っています。1,2年生の発表で主に言っていたのが、「何か頑張ったと胸を張って言えるようになる」というのと、「進路についてしっかり考えて、目標をしっかりと決めておく」というのがあったんですけど、私は今だに、明確にここに行きたいというのが決まっていなくて、今日出した進路希望調査でも、一応は「城東高校」と書いたけれど、理由を問われれば、「まあ、何となく」というくらいにしか答えられていません。だから、2年間頑張って生活できたことへの達成感と、3年生のスタートラインに立った今でもなお、進路が決まっていないということの焦りと感じながら、今ここに立っています。

なので、「宣言」というほどたいしたものでもないかもしれないけど、この場で少し宣言しておきます。私は2年間頑張って生活してきたけれど、所々で自分から逃げてしまうところがありました。だから、この1年はしっかりと自分を見つめて、自分自身と闘い抜いていく「自問自闘」の1年にしたいと思います。

《学級開き・中学1年の語り:Bさん》

私はよく、人前に立つことが得意だと思われたり、自信があるとと言われることがあります。でも、実際はそんなことはなくて、恥ずかしがりやで臆病なところがあります。

今までの私は、そんな自分をいつも大きな声を出して「大丈夫！」と言い聞かせてきました。でも、大きな声を出すことのできない、毎年あったピアノの発表会では、直前に手足が震えたり、お腹が痛くなることがあったりしました。それで私は気がつきませんでした。私は全然強い心はなくて、今までは本当に自分の気持ちを隠して、やっと本当の自分と向き合うことができました。

私は弱い自分が嫌いです。だから、その弱い自分を隠すために、本当の自分の気持ちを隠してずっと生活してきました。だけど、「峠」に立った今、私は変わりたいと思いました。だから、ここで宣言します。私はこれから自分自身に自信をもって中学校生活を頑張っていきたいです。で、これからもたくさんの「峠」が待っていると思います。その時は、大きかったりけわしい時も時にはあると思うけど、少し休んでみたり、近道をしたり、そこからの景色を楽しんで自分なりにゆっくり進んでいこうと思います。

私は、これからの中学校生活がすごく楽しみです。とても大切なことに気づかせてくれたこの環境には、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、又峠を越えた時には、そこから見える新しい景色を楽しんで、自分なりに生きていこうと思います。

《学級開き・中学2年の語り:Bさん》

私には、なりたい人物像があります。1つ目は、こうやってみんなの前に立って、堂々と語れる人になることです。参観授業があった去年の4月23日の時も、こうやって発表したけど、緊張して言葉がつかまったり、思っていたことを堂々と話せなかったのが、今年の1年間で、堂々と語れる人になりたいと思います。

去年の時は、最初はすごく緊張したけど、1年間をかけて少しずつ堂々と語れるようになって、自分だけが上手になったと勘違いしていました。でも、多分そうではなくて、クラスのみんなとの信頼関係ができたから、堂々と語れるようになったのではないかと思います。だから、このクラスでも、私は1年をかけて、このクラスでしかできない信頼関係を築いて、1年後にこのクラスで良かったと言えるようにしたいと思います。そのために私は、このクラスでしかできない文化祭や体育祭などで、全力を尽くして頑張りたいと思います。

そして、その時に、森口先生の人権学習で学んだ「共感」や「連帯」、「信頼」と「尊敬」、そして友だちへの「感謝」の気持ちが生まれたら、この場でもっと堂々と語れるようになると思います。

2つ目は、人の語りを堂々と聞ける人になることです。さっきも言ったとおり、私だけが成長したのではなくて、語れる人がいるということは、真剣に語りを聞いてくれるみんながいるからだと思うので、私自身も、みんなの語りを真剣に聞ける人になりたいと思います。そのために、私は、この1年間で人の語りを真剣に聞ける自分にもなりたいし、そういうクラスもつくっていききたいと思います。なので、まずこの1学期から、最初はまず学級委員の仕事をして、みんなをサポートして引っ張っていきけるように頑張っていきたいと思います。そして、1年後、自信を持って堂々と語れる人と、人の語りを聞ける人になりたいと思います。

《学級開き・中学3年の語り:Bさん》

私は中学3年生の初めの登校日の時に、緊張してクラス替えと着任式を迎えました。1年生の時よりも、2年生の時よりも緊張してクラス表を見ました。それは、1年後の自分の進路のことだったり、受験のことを意識できていることだと思いました。私は、日本航空の国際線のCAになることが目標です。でも、昨日返されたテストの点数を見たら、今のままでは難しいなと思ったので、今自分にできることを大切にして、毎日少しずつ成長していきたいと思いました。

中学3年生の峠は、1年生の時よりも2年生の時よりも、すごく自分にとって大切な時期だと思うので、このクラスのみんなや、今年いっぱい関わってくれる先生方との出会いを大切にして成長していきたいです。そして、目標である職業に就くことができれば、私は旅行が好きなので、いろんな国やいろんな人との出会いを大切にして成長していきたいです。

《仲間の生活ノート》

仲間が日々の生活を綴ってくれた生活ノートです。今回は、学習について思うこと、仲間との人間関係のこと、部活動のこと、様々な人権学習のこと、一人ひとりの誠実な思いが表現された生活ノートを掲載することができました。仲間の思いを通して、自分の生活をみつめ、共に成長する一日一日を過ごしていきましょう。

今回は、5月24日(金)から7月14日(日)までの生活ノートです。

5月24日(金) 真剣に聞いていたら新しい考えが生まれるのが面白かった

今日、人権学習の語り合いがありました。共感できる意見や気づいたことがたくさんありました。個性や悩みをプラスに考えようとしている人が多かったです。家に帰ってからみんなの発表のことを考えていました。私はまず、自分がプラスに考えて自分を大切にしようと思います。そうしたら、周りの人のことを尊重できたり、差別をなくすために行動できそうだと発表を聞いて思いました。真剣に聞いていたら、自分の新しい考えが生まれるのが面白かったです。聞き上手になろうと思いました。

6月13日(木) 最後の松中生活が、良い先生方に囲まれて嬉しい

今日、美術で相変わらず田村先生が面白かったです。私は、田村先生と趣味があって尊敬しています。先生が歴史の話をしてくれて、ほとんどの質問に答えることができました。最近、先生は「菓屋のひとりごと」と、「葬送のフリーレン」にハマった(見た)そうです。他にも先生とは「呪術廻戦」や「進撃の巨人」なども見ていて、よく話します。

先生には「WINDBREAKER」(ウィンドブレイカー)をお勧めしました。オープニング曲もエンディング曲も良くて、絵も綺麗です。台詞も名言が多いので、心にきます。キャラデザ(キャラクターのデザイン)も素晴らしくて、声優も豪華なので是非見てください。

田村先生は声が綺麗(遠くまでよく聞こえるアナウンサーのような声)で、トークの技術もとても高いです。絵も上手でたくさんの知識を私に(私たちに)教えてくれるので尊敬しています。田村先生はととてもとても良い先生だと改めて実感しました。

山下先生も、森口先生も、小泉先生に、城所先生、河野先生、高磯先生、高崎先生、尾島先生。最後の松中生活、良い先生方に囲まれて嬉しいです。1,2年生の頃の先生も良い先生ばかりだったので、すごく嬉しかったです。

(担任コメント)

感謝の気持ちを持って生活できる人は幸せだと思います。私も皆さんとこの1年を過ごせるのがすごく嬉しいです。ちなみに出てきた作品は少し知っています。

6月18日(火) 今日の学年の人権に関する意見発表会で、特に心に残った2つの作文

今日は、1,2時間目に3年生の「人権に関する意見発表会」がありました。8人の意見発表、すべての作文が心に残りました。その中でも一番心に残っているのはMTさんの作文です。自分も男女差別をしてしまっていたかもしれないと、聞いていて思いました。それは、自分の学校の帰り道で道路工事をしている、そこに女性の方がいた時、「女の人が工事の仕事をするんだ」と思ってしまっただけです。

今は、男子だから、女子だからと決めつけて仕事や夢を叶えるのではなく、皆平等に接していける世の中になりつつあると思います。なので、これからは女の子だから、男の子だからと勝手に決めつけるのをやめていきたいです。

あと、もう1つ心に残っているのは、YKさんの作文です。この作文から、自分の今の名前が一番好きだと思います。苗字は、この苗字はカッコイイ、可愛いと思い、憧れを持っていました。でも、今回の作文や発表の感想でたくさんの人が言っていたように、「名前は自分にしかない特別なものだ」と思って、日々自分の名前を生活していきたいと思いました。個性を大事にしたいです。

(担任コメント)

とても心が豊かになった意見発表になりましたね。生き生きとした文章にいつも元気をもらっています。

6月18日(火) 瀬戸中の子から手紙をいただいたことが嬉しかった

今日は嬉しいことがありました。それは、「人権を語り合う中学生交流集会」で出会った、瀬戸中のKIさんからのお手紙をいただいたことです。私は、このKIさんから勇気をもらったのですが、そのKIさんも私から勇気をもらったと手紙に書いてくれていました。人権学習や語り合いの時、いつも私はいろいろな人から勇気をもらう側で、人に勇気を与えたことがなかったので、KIさんからそう言ってもらえてとってもHappyになりました。

森口先生のおっしゃる「人権でのつながり」というのはこういうことかなと思いました。この出会い、つながりは一生大切にしていきたいです。そして、早くKIさんに直接会ってお話したいです。また今日は学年での「人権に関する意見発表会」がありました。私は、代表8名の中のRAさんと、語り合いの時に発表していたYSさんの“大切な人”についての語りがとても心に残りました。

森口先生の指名をもらって、私もその場で、自分の大切な人を突然亡くしたことを言いました。私はたった何十秒しかしゃべっていないけれど、自分のことについてみんなの前で話すのは緊張したし、自分の大切な人が亡くなったことを言っていたので、その時の状況を思い出して、泣きそうになりました。

RAさんもYSさんも私より長い時間発表して、もっと辛い思いを味わったと思います。そんな感情の中でもしっかりと語っていて、すごいと思いました。そして、改めて自分をさらけ出すのは勇気の必要なことだと感じました。

※5月18日(土)人権を語り合う中学生交流集会第2回実行委員会で出会った「瀬戸中KIさん」から「松茂中MFさん」への手紙です

6月13日(木) 松茂中MFさんへ【MFさんが書いてくれた中学生集会の感想を読んでいっぱいの元気をいただきました】

MFさんが書いた中学生集会の感想を先生から受け取った時、めちゃめちゃ嬉しくて頑張ろうって思えました。改めてこんにちは、KIです。第3回の実行委員会で直接も話したいと思っているけど、今日、6月13日(木)に森口先生が瀬戸中で人権の授業(全校生徒による語り合いの人権学習)をしていただいたことで、このお手紙を書くことにしました。

S先生(瀬戸中の人権教育担当の先生)からMFさんが書いた第2回実行委員会の感想を受け取った時、もうめちゃめちゃ嬉しくて、1日中ルンルンでした。MFさんの文章を読む前までは、「やっぱり向いてなかったんじゃないか…」みたいなことを考えていたけど、読んだ後、「頑張ろう…」と思うことができました。本当にありがとう。

私が長所を聞いた時、「ポジティブなところ」っていうのを聞いて、「すご」ってなって、S先生に少し話したら、「素敵な人ですね」って言って、「ですよ!？」ってなって。「私もそんなふうになりたい」って心から思ったって伝えたかったです。

そして今日、森口先生に実施していただいた瀬戸中学校の人権学習で、中学生集会の感想を朗読してくれたMFさんの音声を聴かせていただきました。MFさんの声がスピーカーから流れてきたとき、やっぱり嬉しくて、きっと会ったらドキドキして、話しかけられるか不安もあるけど、早くありがとうを伝えたいと思いました。

こうやって書いていると、「お手紙って重いかな…?」とか、「もらっても困るかな…?」とか。いろいろ考えてしまうけれど、“ポジティブ”に「読んでくれたら嬉しいな」とだけ考えようと思い、この手紙を書いています。

私が、中学3年になって、人権を語り合う中学生交流集会に参加した理由の1つに、他校の人ともつながりたいっていうのがあって、森口先生が「こうしてつながりができていく」とおっしゃっていて、「もしかして達成できたのかな…?」と1人でよろこんでいます。

長くなったし、ほぼ自分語りで申し訳ないです。最後に、私はやっぱり人見知りをしてしまうし、すぐに言葉に詰まってしまって、前回とさほど変わっていないかも…。けれど、心は全然違って、MFさんから大きな勇気をもらいました。次の実行委員会でまたお話ができることを楽しみにしています。

6月18日(火) 発表するのが怖かったし恥ずかしかったけど、終わってからはスッキリした

今日は、学年の「人権に関する意見発表会」がありました。私は、発表の順番がまわってくるまでの間、とても緊張しました。周りの子は、すごく良いことを言っていて、自分の作文を発表するのが少し怖かったです。しかし、発表する直前に私の次に発表するYKさんが「大丈夫だよ」と声をかけてくれたので、少し心が落ち着きました。発表している時もみんなの視線が集まって恥ずかしかったけど、終わってからはとてもスッキリしました。後半の意見交換の時間は、手を挙げて発表している人が多くて、とてもすごいなと思ったし、尊敬できるなと思いました。

6月26日(水)「ゆめ・ミライ塾」を通して、周りの環境や後悔しない選択をする大切さを学んだ

私は、今日の「ゆめ・ミライ塾」を通して、周りの環境の大切さや後悔しない選択をする大切さを学びました。私は、支えてくれる家族も協力したり、お互いに高め合える存在のチームメイトも、熱心な指導してくれる先生もいるので、私も、これからいろいろなことを経験して成長し、「あなたがいてくれてよかった」と思わせられるような人になりたいです。そして、私はよく挑戦してみる前から諦めてしまうことがあり、やらない後悔をしてしまうから、これからはまず、挑戦してみるようにしたいです。大事な選択は人に任せたりせずに、自分で決めるようにしたいです!

6月26日(水) 黒板に張り出された、第1回進路調査の結果で考えたこと

今日、教室の後ろの黒板に第1回進路希望調査の結果の紙が貼られていました。私の第1希望の城東高校は66名。第2希望の徳島市立高校(学区内)は111名と、どちらも無茶苦茶定員オーバーしていて驚きました。城所先生は、まだ1回目だから気にする必要はないとおっしゃっていたけど、これから定員と同じ数になるように調整していくんだと考えると、少し怖くなりました。定員がオーバーしていて、受かるかわからないから、1つ下のランクの高校に行くことにならないようにしたいです。

総合体育大会が終わって、もう部活に参加しない人の勉強時間が増えたり、その人たちが塾に通い出したと言っているのを聞いたりすると、みんな受験に向けて進み始めているんだと焦る時もあります。でも、焦るだけでは何も変わらないので、今は真剣に部活にも取り組んで、隙間時間を大切に、勉強も頑張っていきたいです。

6月27日(木)「ゆめ・ミライ塾」の内田聖人さんの話を聞き、どうにかして勉強が習慣づけられるようにしたい

昨日は、「ゆめ・ミライ塾」がありました。内田さんは、野球がすごくできて頭もよくてびっくりしました。400点くらいとっていたと聞いてびっくりしたのに、高校ではそんな人がビリ争いをしていたと聞いて、眼が飛び出そうでした。

私は今、350点くらいしかありません。でも、すごく頭のいい高校に行こうとしています。自分でも難しいことだということはわかっています。でも、やっぱりその高校に中学1年の時から憧れていて、ずっと行きたかったから諦めずに最後まで勉強したいです。

ずっと点数が上がらなくて、TikTokとかでは、よく行きたい高校に全然偏差値足りなかったけど合格したっていう動画を観て、勉強したらこんな風に点数が上がるかなと夢と希望を持っていたのに、結果は下がっていきました。中1の時の方が頭がよかったのに、どんどんついていけなくなって、中2では300点ギリギリをさまよっていました。でも、行きたい高校は400点近く必要だから確実に無理だと思いました。

私はいつも気づくのが遅く、中1の時から50点くらい足りないから、行けるように勉強しようって思えばよかったのに、中3になって、やっとこのままじゃダメだと思えるようになりました。提出物をするのもギリギリ、テスト勉強も2、3日前でやっとそろそろしないとヤバイになります。こういう性格だから、今回のテストも手遅れになっています。最後の最後まで自分に甘えてしまい、結局結果が悪いから、自分に厳しくするしかありません。

でも、今までずっと自分の癖だったことが今すぐに直せるかと言われると、そうではありません。私は楽しいことを好みます。なので、勉強することが楽しければやろうと思えます。テストが終わると気が緩んでしまい、受験生なのに勉強をさぼってしまいます。そうならないためにも、今のうちに楽しくなるように、どうにかして勉強が習慣づけられるようにしたいです。今後の自分のために精一杯努力していきたいです。

でも、ちょこちょこ休憩もはさみたいですね。私は、3年生になって生活ノートを頑張っておいて、すごくモチベーションが上がります。「私はできる子なんだ」「今まで頑張ってきた」と思えてすごく嬉しいです。でも、モチベーションが上がるよりも、先生の言葉が「毎日読んでくれているんだ」と思わせてくれたり、褒めてくれたりしてとても嬉しいです。

先生たちは授業しないといけないし、仕事もあるし、生活ノートにいっぱい時間をかけることはできないと思います。でも、それでも先生は全員に心のこもったコメントを書いてくれて、とっても嬉しいです。前のページも、先生が私の「努力して続けられるところを尊敬している」と書いてくれていて、とても嬉しくなりました。過去にもたくさんの嬉しいコメントを書いてもらって、いつも生活ノートが返ってくるのが楽しみです。

(担任コメント)

生活ノートが生きがいとなり、本気で頑張る受験勉強につながっていく中学3年生の姿をいっぱい見てきました。

7月までの1日1日。7月の1日1日。「今日という日」をとことん頑張ったと言える努力を積み上げていく力を生み出し、継続させていく生活ノート。1回1回のテスト結果を恐れるのではなく、「今日という日、こんなに頑張れた」と自分で自分を褒めてやる1日1日の努力を積み上げていきましょう。生活ノートの喜びは、本気で頑張っている自分を受け入れ、自分を磨いていくことにあります。さあ、今日も最高の家庭学習に取り組んでいこう。今日という1日を全力で頑張れ。

6月28日(金) 戦争で本当に起きたことや、戦争に巻き込まれた人々の辛さを学んでいかなければならない

今日は、「松中の絆」が配られました。亀谷さんの話が載っていて、話してくれたことを思い出しました。立ち直れないくらい辛かったと思います。日本はもう戦争をやめていて、今の人たちは、戦争がどれだけ怖くてむごいことか知らない人が多いと思います。だからこそ、戦争であったことを伝えていく人たちは、本当に強くてすごいと思います。今、世界でたくさんの人たちが苦しんでいます。戦争の辛さは、その人たちにしかわからないと思います。だからといって、私たちが目をそむけたり、ひとごととして捉えるのは間違っています。これから先、ずっと、私たちは「戦争で本当に起きたこと」や、「戦争に巻き込まれた人々の辛さを学んでいかなければならない」と思います。

7月1日(月) お母さんに「自分が言った言葉は本当にそうなるんだよ」と言われ、自分を強くすることができた

今日から7月です。中学3年生になってから3カ月も経ちました。この3か月間は、私にとって内容の濃いものとなりました。例えば、北部A総合体育大会や学年の「人権に関する意見発表会」などです。北部A総合体育大会では、去年と違う緊張感がありました。去年はミスをしないうに頑張らなと思、やっぱり2年生の私には、3年生の気持ちを考えることはできていませんでした。

でも、自分が3年生の立場になってから、その緊張感を味わうことができました。今年の北部A総合体育大会は怖かったです。まだまだバレーボールをしたいけど、負けたらもう引退だから、試合の1週間前から緊張していました。しかし、お母さんに「自分が言った言葉は本当にそうなるんだよ」と言われてから、「負けたらどうしよう」というのではなく、「絶対勝つぞ」というようにしました。すると、本当に勝てました。だから、これからは自分も周りの人も前向きになれる言葉を言うようにしたいです。そして、学年の人権に関する意見発表会では、とても緊張したけど、1年生の時よりはスムーズに言えた気がしました。とても貴重な経験をすることができました。

7月11日(木) 最後の大会、部活を終えて思ったこと

今日、中学校総合体育大会で負けて部活が終わりました。あまり実感がありません。2セット目を取り返した時、「これはいける」と思ったけど、負けてしまいました。みんなが頑張っているプレーをしてくれたけど、サーブしか打てなくて、守備も動けないからリベロに取ってもらって、とても悔しかったです。けど、僕をコートの中に少しの間だけでも入れてくれた兼子先生やみんなに感謝したいです。まだバレーボールを諦めたわけではないから、クラブチームで頑張っておいて練習をしてジャンプと着地の恐怖をなくして高校につなげたいです。

(担任コメント)

お疲れさまでした。少しでもコートに入れてよかったです。複雑な思いを抱えながらの試合だったと思います。絶対に次につながっているの、練習も引き続き頑張ってくださいね。

7月11日(木) 悩んだ時、誰かに相談することで一番成長になっていく

今日は部活が面白くなかったので、小林先生に「面白くないです」と言いました。そしたら、小林先生は「何が面白くないか言ってくれ」と言われたので、「質が低くて面白くないです」と言いました。先生は「それはそうやな。質は低いな」と言って、僕と同じに考えていたことにびっくりしました。

そして、先生は「質を上げるにしても、まずは技術がなければいけない」と言いました。AS君やTS君などは、技術があるからものと他の人に質を上げて欲しいかもしれないけど、まず、お前たちの所まで行っていないからわからないだろうし、難しいのだと思うと言ってくれました。

「そりゃあ、意識の高い奴らだけに教えてもいいけど、そしたら、何で〇〇だけになっていう人が出てきて、その人たちに対して、お

前に言っても質は上がるかと言ったら『はい』って言うてくると思う。口だけは何回でも言える」と言っていて、ああ、それはそうやなと思いました。

それに、「全員にもっと質を上げろやなどと言って、厳しく言っただけでもいいけど、そしたら、どんどん人がやめていくだろうし、今こうやっておるんは、お前らのレベルアップのためでもあるし、お前らが2年や1年に教えられることがあるんだったら教えて欲しいから、今の感じで行っとる。だから、お前みたいにある程度の技術があるやつは、面白くないかと思ってしまふかもしれん。だから、お前たちには今は基本をしっかりしてほしい。そしたら、高校とかでもサッカーをするんだったら、その時にもっとレベルを上げたりしたらいい」って言うてくれました。

それに、「ストレスのないサッカーやスポーツなんか面白くないだろう」と言っていました。けど、僕は「何でなんだろう」と思いました。「ストレスがなかったら、面白いに決まるとるやん」と思いました。けど、「ストレスなどがあるからどうすればいいとか、その悩みについて考えれるから、成長していくから」と言われて、そうやなって思いました。悩みがあるからこそ成長があって、壁があるからこそ、目標ができたりしていくんだと思いました。

そして、今日一番思ったことは、悩んだりしたら誰かに相談するってということが一番成長になっていくんだと思いました。だから、城所先生が教えてくれた、「その日の目標をチームでも個人でも決めたり、その月の目標を決めたりしたら、もっと質が上がっていくんじゃないかなあって思います」と言ったら、先生は、「目標か。そうやな、そしたらいいかもなあ」って言って、「キャプテンと相談してみるわ」って言うてくれて、なんか、心にあったヤツが少し消えた気がして嬉しかったです。

(担任コメント)

自分の思いを語れてよかったですね。そして、それを正面から受け止めてくれた小林先生にも感謝ですね。小林先生のお話の中から、私もハッとさせられました。「ストレスのないスポーツは面白くない」という言葉です。

一つ一つの壁を乗り越えていくからこそ、チームは一つになり、勝利に近づいて行くのですね。そう考えると、今、R0君が感じている迷いは、チームとR0君が成長するために必要なステップなのかもしれない。そして、昨日の小林先生とのお話で、確実に成長していくんじゃないかな…。陰ながら応援しています。

7月12日(金) 絶対に何があっても、夢はあきらめないで人生を大きく変えたい

今日、新聞で「パリ五輪 レスリング日本代表 豊田さん 監督に」という記事を見ました。豊田さんという、「もともとレスリングで有名で、警視庁にいる人」というイメージがあるのですが、そもそも、警視庁という首都にある警察に所属できることがすごいし、警視庁のレスリング部の監督になり、オリンピックの日本代表チームの監督になることもとてもすごいことです。

1年生の時に「オリンピック豊田雅俊さんに学ぶ人権学習」で学んだことを思い出し、自分と本気で向き合い全力で努力を積み上げるにより、本当に人って変わることができるとなりました。

僕は将来、警視庁で働きたいと思っています。自分の心の中には、正直、本当に自分の夢が叶うのかなと不安でいっぱいです。ですが、僕は今まで警察の人と話す中で、どの人ももともと叶うと思っていなかった職業だったけれども、警察官になることができ、今、副所長まで位を上げている人もいますので、絶対に何があっても夢はあきらめないようにしたいです。そして、豊田さんのように、大きく人生を変えたいです。

7月13日(土) 楽しい部活に所属できたこと、キャプテンになれたこと、本当に幸せでした

今日は、通信陸上でした。私は100m走に出場しました。今日で私は陸上部をやめるので、緊張と不安でドキドキしていました。大会の3日前くらいから、身体が思うように動かなくなって、力が入り過ぎたり、足の回転が減っていたりしていました。だから、ベスト8に入れないかもと、不安でいっぱいでした。最後だから絶対にベスト8に入ろうと思っていました。

でも、当日のアップの時も3日前と変わらず、調子が悪くて思うように走れず、気持ちが下がっていきました。それでも、友だちや後輩、顧問の先生からの期待がすごくて、プレッシャーを感じ、絶対にいい結果を出さないとと思っていました。

本番、スターターのピストルが鳴って走り出した時、スタートが上手くいって「いけるかも!」と思えました。でも、そこからスピードに乗れなくて、足がまわらずいつもの自分とは全然違いました。

私は1組で走ったのですが、1組は速い人が多く、1組で8位以内に入っていれば大体は決勝に行けます。でも、今回1組目は9人いて、再下位だと確実に決勝へは行けない状況でした。本番走っていて、「自分は今最下位だ」と気づいた時、泣きそうになりました。どんなに悲しくて悔しくても、足がまわらず、結局、組で最下位ゴールしました。

ゴールを切った後は涙が止まらなくなって、大きな声で泣きたくなりました。あんなに期待してくれていた友だちや顧問の先生の合わせる顔がなく、申し訳ない気持ちになりました。いつも自主練に付き合ってくれたお父さんにも申し訳なくなりました。泣きながらテントに行くと、友だちが慰めてくれて少し落ち着きました。悔しくて仕方がなかったけど、今回結果が出た子は私よりずっと努力していたんだと思います。

ポカリスエットスタジアム内でバレーボールの試合があった城所先生が私が出るはずだった決勝を見るために来てくれました。そんな先生に決勝に行った姿を見せたかったのに、叶わなくて悲しかったです。本当に悔しいです。

今日の夜、お父さんに今まで陸上の自主練に付き合ってくれたことに感謝したくて、タイミングを探していました。今まで改めて感謝したことがなくて、少し恥ずかしかったし、お父さんの優しい顔を見たら申し訳なさが思い出されて泣きそうになったけど、しっかり「今まで自主練付き合ってくれてありがとう。これからもサポートしてください」と言うことができました。

お父さんは「こちらこそ。サポートできて良かったよ。またいろいろ頑張ろう」と言うてくれました。今書いているだけで涙が出ますが、そんなお父さんにこれからも感謝したいです。結果が良くなって悲しいことだったけど、陸上を通していろいろなことを学べたように思えます。

あんなに楽しい部活に所属できたこと、キャプテンになれたこと、本当に幸せでした。これからも陸上で学んだことを生かして生きていきます。

(担任コメント)

本当にお疲れさまでした。私も決勝が見られず残念でしたが、あそこまでやり切ったHIさんは本当に素敵だと思います。なかなか努力しても結果が出ないことがあります。私の経験上そちらの方が多くはないかと思えます。でも、努力してきたことが結果よりもいいものを与えてくれると信じています。これからも頑張りましょう!応援しています。

7月14日(日) 部活を通して仲間の大切さがよくわかりました

今日は、ラストミーティングがありました。1、2年生からもらった言葉は、泣きそうになりました。私は、バレーボール部に入部して良かったです。中学生ではバレーボールはしないつもりだったけど、誘われたから入りました。

先生が怖くて、いつでもやめてやろうと思っていたけど、同級生の支えがあったので、最後まで続けることができました。部活を通して、仲間の大切さがよくわかりました。だから、これからも仲間を大切にしていきます。

(担任コメント)

学んだことは本当に大きい。素晴らしい成長です。

***生活ノートを綴ることを通して、人間性を磨いていく皆さんの姿に心が熱くなります。2学期も、一日一日をより充実したものにしていきましょう。**